



Shikoku
Cancer Center News
No.91

独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター

四国がんセンター ニュース



2025
夏の号

基本理念 患者さんの立場にたち人格を尊重し、科学と信頼に基づいた最良のがん医療を提供します。

残暑お見舞い申し上げます



(伊予市・伊予港埠頭 撮影: 俊野健治)

着任のご挨拶

令和7年4月1日に着任いたしました田邊と申します。

四国がんセンターでの勤務は2回目で、前は平成31年(令和元年)からの3年間、副看護部長として在籍させていただきました。この度はさらに、看護部長という重責を担うことになり、身の引き締まる思いですが、スタッフと共にがん看護の専門性をさらに発揮できるよう取り組んでまいりたいと思います。

わたくしは山口県宇部市の出身で肺がんを中心に学ぶ機会が多くあり、もともとがん看護に興味がありました。前回の勤務時は四国がんセンターで勤務させてもらえるという高揚感と、自宅から遠方(片道350km)ですぐに帰れない不安や戸惑いがあったのをよく覚えております。2年目には新型コロナウイルス感染症の対応に追われ、さまざまな葛藤もありましたが、めまぐるしく変動する社会情勢の中であっても、日々多くのがん看護を学ぶことができ、充実した日々を過ごさせていただきました。その後、福山市、柳井市で急性期から慢性期の経験を積み、再びここで勤務することになりました。

看護部の理念に「私たちは専門職としての誇りを持ち、がんと共に生きる人を支える最良のがん看護を提供します。」とあります。他施設での経験があったからこそになりますが、当院の専門性の高さを改めて実感しているところです。医療を取り巻く環境は大きく変化しており、看護に求められる役割も多様化しております。がん看護においても患者さんの個性や多様性を大切にしたいと、新たな分野への開拓が求められています。どんな時代になったとしても、がん患者さんが慣れ親しんだ地域で安心してそれぞれが思い描くご自身の生活が送れるように、看護師が支援できるようにしたいと考えております。そのためには時代の変化にあわせた専門性の高いがん看護が実践できる教育体制の構築を目指してまいります。

患者さんとそのご家族の方に満足してもらえる看護が提供できるように、そして地域の皆様や施設の方々により一層信頼される病院になれるよう努力を重ねてまいります。(看護部長 田邊 富江)





がん治療

最前線

泌尿器科

前立腺がんの新しい検査と治療がもうすぐ登場します！

最先端の画像診断「PSMA-PET」+体の中からがんを狙い撃つ「ルテチウム治療（Lu-PSMA）」です。

前立腺がんは、早期発見できればほとんどが治ります。ロボット支援手術や放射線治療（IMRT（強度変調放射線治療）やヨウ素125密封小線源治療）が広く普及しています。しかし、これらの治療も万全ではなく、再発することもありますし、診断時すでに転移がある人もいます。このような場合に使用する薬物もここ数年で数多く登場し、多くの患者さんが恩恵を得ることができました。

ここに、さらに新しい薬物の登場です。この薬物はこれまでの治療を大きく変えていくといわれています。

「見つけて」「狙って」「治す」——そんな時代がもうすぐやってきます。

【PSMA-PET 検査】とは？

がん細胞の表面に出てくる「PSMA」という目印を狙って、非常に小さながんや転移を高精度で発見できる画像検査です。従来の検査では見逃していた病変も見つけられる可能性があります。（左：PSMA-PET、右：CT、Journal of Urology 2022より）

【ルテチウム治療（Lu-PSMA）】とは？

PSMAに反応する薬に放射線（ルテチウム¹⁷⁷）をくっつけて、がん細胞だけを内側から破壊する画期的な治療法です。放射線リガンド療法と呼ばれています。

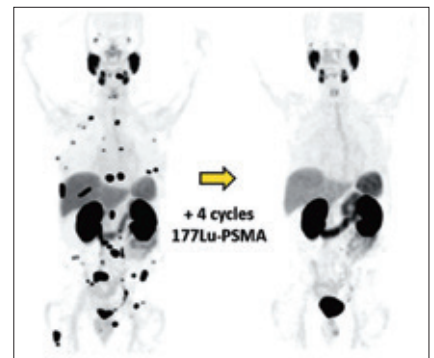
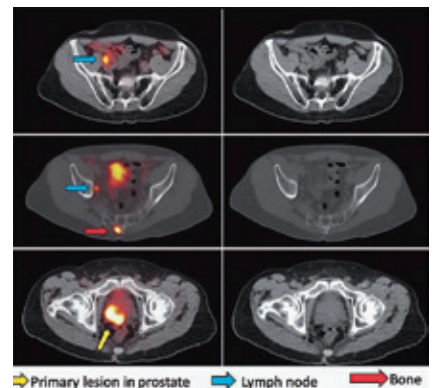
右の写真はルテチウムの治療前後のPSMA-PET写真です。左側が治療前で、PSMA-PETで認識されたところにルテチウム¹⁷⁷が運ばれ、治療します。右側の写真ではPSMA-PETでは認識されなくなり、治療効果が出ています。（「Journal of Urology」2022より）

【開始予定】

保険診療が可能になれば、当院でPSMA-PET検査とルテチウム治療を速やかに開始できるよう準備を進めて参ります。

ご希望の方は、主治医または泌尿器科外来までご相談ください。

（がん診断・治療開発部長 橋根 勝義）



治験 CHIKEN CORNER

ちけん

「当院では治験を実施しています」

● 現在参加者募集中の治験等情報

- 肺癌 ……24件
- 子宮頸癌 ……2件
- 食道癌 ……2件
- 固形癌 ……9件
- 乳癌 ……7件
- 胃癌 ……4件
- リンパ腫 ……5件
- 前立腺癌 ……3件
- 卵巣癌 ……3件
- 大腸癌 ……3件
- 頭頸部癌 ……1件
- 子宮体癌 ……3件
- 胆道癌 ……1件

下記の件数は企業治験、医師主導治験、製造販売後臨床試験の「現在参加者募集中の治験等情報」です。

https://shikoku-cc.hosp.go.jp/rinsyo/trial/clinical_trial_during_the_experiment/





肝胆膵内科で扱う疾患は、診断も難しく、難治性のことが多いですが様々な切り口から治療方法を検討して予後改善に努めています。

それぞれの分野ごとに最近のトピックを紹介します。

- ① 肝細胞癌：手術やラジオ波焼灼術（RFA）や肝動脈化学塞栓療法（TACE）を行うのが難しい肝臓癌に対して分子標的薬で治療をすることが主流でした。近年、免疫チェックポイント阻害薬（ICI）が登場し選択肢が増えています。効果には個人差がありますが、以前よりも腫瘍が小さくなる人の割合が増え、根治した症例も見られています。門脈や静脈などの血管に腫瘍が浸潤した症例では放射線治療を行うなど他科と連携して集学的治療を行うなど工夫しています。

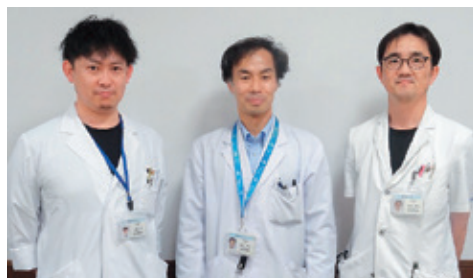
肝細胞癌は慢性肝炎や肝硬変が背景にあることが多いですが、C型肝炎は内服薬でほぼ完治するようになりました。当院でも治療可能ですのでご相談ください。

- ② 胆道癌（肝内胆管癌、肝門部胆管癌、遠位胆管癌、胆のう癌、十二指腸乳頭部癌）：胆道癌ではがんゲノム検査が注目されています。例えば、肝内胆管癌や肝門部胆管癌では4-7%の頻度でFGFR2融合遺伝子が見つかることが知られており、陽性者では標準治療で効果がなくなった場合、次の治療ができるようになりました。その他にも胆道

癌では、がんゲノム検査を手掛かりに治療開発が進んでいます。がんゲノム検査は、腫瘍組織の検体あるいは血液検体を用いています。

- ③ 膵臓癌：昨今、日本でも世界でも増えている癌です。診断、治療に難渋することも多く、内科、外科、放射線科、病理診断科、緩和ケア科など多数の職種とチームワークが必要な疾患です。膵臓癌の診断・治療に内視鏡検査はとても重要で超音波内視鏡検査（EUS）や内視鏡的逆行性胆管膵管造影（ERCP）を駆使して早期診断や治療に日々頑張っています。外科との連携は特に大切にしており、治験や臨床試験も数多く行っています。

（消化器内科医長 浅木 彰則）



浅木 彰則 肝臓IVR・肝胆膵薬物療法・がんゲノム（中央）
大野 芳敬 胆膵内視鏡・胆膵薬物療法（右）
大鶴 徹 肝胆膵薬物療法・がんゲノム（左）



エキスパートナース・メディカルスタッフ

EXPERT NURSE・MEDICAL STAFF

Part.67

がん登録を知っていますか？

医療情報管理室では他の病院と同じように病院の診療情報に関与しています。診療録の管理、データ分析、情報提供、情報管理などの業務を担っています。

加えて、がん専門病院という特性から「がん登録」に力を入れています。がん登録という言葉を知ったことはありますか？

がん登録とは、がんに関して診断内容や治療、経過などに関する情報を集めてデータベースに登録し、保管、整理、解析することです。毎年どれくらいの数のがんが新たに診断されているか（罹患数）、がんと診断された人がその後どのくらいの割合で生存しているか（生存率）などのデータを地域毎や病院毎に収集、整備しています。

当院は自院の情報をがん登録するだけではなく、愛媛県のがん診療連携協議会を主宰する県拠点病院として県内の他病院のがん登録データの集計にも協力しています。また、愛媛県内の罹患数や生存率などを知るために行われる全国がん登録に関しても、愛媛県当局から依頼されて行っています。

皆さんがそれらのデータを見たいと思ったときは？

がん登録のデータは、愛媛県庁や愛媛県がん診療連携協議会のHPでご覧いただけますが、ちょっと難しいかもしれません。一般の方には愛媛県公式がん情報サイト「がんサポートサイトえひめ」（<https://e-cip.jp/>）で、分かりやすくがん診療連携拠点病院などの患者数や治療数といったデータを公開しています。患者さんや住民の皆さんにとって有用なデータであれば幸いです。

患者さんと直接接することは少ない部門ではありますが、縁の下の力持ちとして、がん医療に貢献できるように日々頑張っています。

（診療情報管理係長 白岡 佳樹）



医療情報管理室一同

【がん哲学外来 坂の上の雲暖だんカフェ】



「がん哲学外来」という言葉をお聞きになったことがある方は少ないかもしれませんが、少しご紹介させていただきます。(一般社団法人がん哲学外来のホームページより抜粋)【多くの人は、自分自身または家族など身近な人ががんにかかったときに初めて死というものを意識し、それと同時に、自分がこれまでいかに生きてきたか、これからどう生きるべきか、死ぬまでに何をなすべきかを真剣に考えます。一方、医療現場は患者の治療をすることに手いっぱい、患者やその家族の精神的苦痛まで軽減させることはできないのが現状です。そういった医療現場と患者の間にある「隙間」を埋めるべく、「がん哲学外来」が生まれました。…がん患者が、垣根を越えた様々な方との対話により、「病気であっても、病人ではない」という、安心した人生を送れるように、私たちは寄り添っていきたくと思っています。】—という趣旨の活動です。

当院では、2016年に現「一般社団法人がん哲学外来」の名誉理事長であられる樋野興夫先生(愛媛大学医学部卒、順天堂大学医学部 病理・腫瘍学教授)をお招きして講演をしていただき、以降毎年開催しています。『がん哲学外来 坂の上の雲暖だんカフェ』の名づけ親は、現当院名誉院長の谷水正人先生です。コロナ禍以降、残念ながら病院ボランティアふれ愛のみなさんによるティーサービスはできていませんが、医療者との交流の場として再開しています。

進行は、病理医の寺本先生で、初参加の副院長 藤山先生(皮膚科)と恒例参加の相談支援センターの看護師、臨床仏教師が輪の中に入り患者さん等参加者7名と語り合いました。

気になっている症状の話や日々の生活で頑張っていること、人付き合いの仕方、考え方などさまざまな話題について、医療者も一緒にやり分け隔てなく語り合い、あつという間の1時間でした。正解はないからこそ、みなさんの考えも聞いてみて、自分にはなかった考え方に一つ二つ新しい考え方を持ち帰られているように感じました。



最後に臨床仏教師の森脇さんから巳年にちなんだお話を、ダジャレも交えながらしていただいた後、次のようなお話もしていただきました。「煩惱」は、仏教のことはで、欲望を含む心を乱す原因となる広い概念です。苦しみを生み出す心なので、仏教の教えの中でも煩惱をなくすようにといわれていますが、空海は「煩惱すべてをなくそうとするものではなく、程よく正しくはたらかせるものである」と説いたのだそうです。そうでないと「人を助けてあげたい」という気持ちもよくないものになってしまうから。そして、おせっかいも度が過ぎると相手にとってよいものにならない。ものには表と裏があって何かしたいと思った煩惱にもその裏があるんですね…。宗教を超えて心穏やかに過ごすためのヒントになるのでは?とのことでした。

そのような奥深いお話を聞き、肩の力を抜いて煩惱と付き合えるよよいのではないかと思います、私も少し肩の力が抜けました。さて、みなさんはどのようなことを感じましたでしょうか?

暖だんでは、毎月さまざまなサロンやセミナーを開催しています。患者さんやご家族、身近な方々どなたでもご参加できるものも多くありますので是非ご参加ください。

(患者・家族総合支援室 室長 福島 美幸)



☑ がんセンターだより

地域医療連携交流会

令和7年6月21日土曜日、松山市内のホテルにて、日頃からお世話になっている地域の病院やクリニックの先生方をお招きし、地域医療連携交流会を開催しました。新型コロナウイルス感染症が5類感染症に位置付けられて再開したこの企画も、今年で9回目となりました。

例年通り、「連絡会」と「交流会」の2部構成とし、前半の連絡会では、当院の診療科のうち希望のあった5つの診療科から、限られた時間の中でがん専門病院として来賓の先生方にお伝えしたい情報を簡潔にまとめていただきました。紹介用スライドを作成された各診療科の先生方にはご苦勞をおかけしましたが、当院のがん専門病院としての特色を紹介されたスライドでした。



後半は各医療機関との連携を深める意見交換の場とし、会場は終始和やかな雰囲気の流れとなりました。今年は

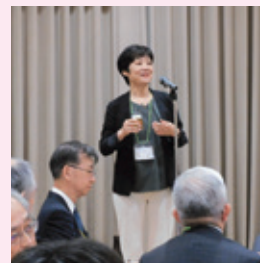
それぞれ

それぞれの円卓に看護師と事務職員も相席し、来賓の先生方と当院の医師に交じり近況をお伺いする良い機会となりました。ご多忙の中、多くの近隣医療機関の先生方にご来臨いただき、心よりお礼申し上げます。

来年はさらに多くの先生方に参加していただきたいと考えております。これからも地域のがん患者さんの立場に立ち、人格を尊重し、科学と信頼に基づいた最良のがん医療を提供してまいりますので、今後とも当院の地域医療連携活動にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

(経営企画室長

伊藤 直樹)



治療中の働き方に関する相談を実施しています!

～就職・就労相談状況のご報告～ 平成29年4月～令和7年5月

《新しく仕事を探している方のための就職相談》

相談延べ人数 907人 就職延べ件数 142件

《仕事を続けたい方のための就労相談》

相談延べ件数 116件

相談者の声

「病院で仕事の相談ができると思わなかった」
「話ができ、気持ちが楽になった」
「病気になった私でも、できる事があると思えた」

治療と仕事の両立支援



四国がんセンターは、がん患者さんの“働きたい!”をサポートしています。お気軽に、スタッフまでお声掛けください。

ちりょうさ

厚生労働省「治療と仕事の両立支援」キャラクター

【お問い合わせ】がん相談支援センター TEL:089-999-1114

医者のつよみやき リレーエッセイ



●第三十一回 丁寧さにまさるものはないとハッと気づく

病理診断において一番大切にしているものは丁寧さだ。顕微鏡をのぞいて0.2秒でがんが分かって、キータッチ3回で診断入力完了するよう字句登録していても、悠然と採取されたとされている検体が顕微鏡で見えるものと同じかどうかの記述から診断をはじめ。丁寧な記載は丁寧な診断に必要な。

時間の問題で難しいときもあるが・・・学会講演も出来るだけ丁寧にしたいと思っている。先だって、日本がん登録協議会の学会でがん情報を公表する難しさをどう乗り越えるかについての講演をした。困難があってもとりあえずやってみないとダメだということ的印象的に示す必要があった。

そこで、エドウィン・モーゼスを持ち出した。まずモーゼスが参加出来なかったモスクワオリンピックを挟み、前後2回のオリンピックで金メダルを取った不屈の偉大な米国の400mハードル走選手であることを聴衆に説明して、ChatGPTの作ったハードル走の選手のイラストも付けた。話すときにオチまで持つて行くための情報を組み込んでいく作業を「仕込み」という。丁寧に仕込んだ上で『ハードルは障害ではなく、偉業へのステップだ』と語らせた。

当のエドウィン・モーゼスは日本の医療系の学会で逸話が取り上げられていることを知らない。知らないだけではなく、そもそも、そんなことも言ってない。言ってそうなだけ。

『良い格言だけど、言ってない』と明かすと、真面目な学

会で『嘘の格言で教訓』という組み合わせが、まあまあうけた。丁寧な仕込みのおかげだ。

でも、うけるだけではいけない。本当の教訓もある。次のスライドはタイトルに『ハードルは障害だけど、別に飛ばなくても良い 為末 大』と入れて、『障害があっても、とりあえず始めて、とにかく最後までやってみることが大事』と強調した。その上で、『因みに、為末さんは本当に言っている』と言ったのだが・・・全くうけなかった。今度はホントなのに orz

為末さんは有名な陸上選手だが医学系の学会ではモーゼス同様丁寧な仕込みが必要だったようだ。今度機会があれば、丁寧に仕込もう・・・メッセージが錯綜していると思われなければ良いが・・・

次の週、また学会出張に行こうとすると、かぶっているハットを見て嫁さんがこう言う『安物に見える』

いやいやいやいや、本場エクアドル・本バナマ草・手塗り、希少性。百貨店で売っているありきたりな某イタリアブランドのハットより、界限（学会や院内）では大絶賛！・・・確かに値段はボルサリーノの1/3くらいだが。

『褒める人は褒める。褒めない人は何も言わないけど幼稚園児みたいと思っている。セレクションバイアス！』（研究対象の選択や抽出の段階で偏りが生じ、結果の解釈を誤らせる可能性のある現象のこと。エコーチャンバー効果などもこれに近い）

嫌な言葉を知っている・・・どうやら、誰の頭にのるかによるバイアスの差が家庭の内外で大きいようだ。これをなんとかするには丁寧な仕込みが必要なようだが、私は仕事を家庭に持ち込まない主義だし、解消は難しい。

（病理科医長 寺本 典弘）



夏は暑さで食欲が低下するうえ、たくさん汗をかくたり体力が消耗したりして、栄養不足に陥りがちです。すると、疲れやだるさなど、夏バテの症状が現れやすくなります。夏バテを防ぐには、食欲がなくても、できるだけ栄養バランスのよい食事をおいしく食べるようにすることが大切です。特に不足しがちなビタミンB1、ビタミンC、良質なたんぱく質の3つの栄養素を意識してとりたいものです。

ビタミンB1は、疲労回復に欠かせない栄養素です。しかし体内に蓄えておくことができず、汗とともに排出されやすいため、発汗量の多い時期はどうしても不足しがちになりま

す。ビタミンB1を多く含む食材は、豚肉（特にヒレ肉やもも肉）、卵、玄米、アボカドなどです。

ビタミンCは、ストレスを軽減するホルモンを合成する働きがあります。暑さや疲労を感じると、副腎からストレスを軽減するためのホルモンが多く分泌されますが、この時にビタミンCが大量に消費されるので、ストレスが多いとビタミンCが不足してしまうのです。ビタミンCは、じゃがいも、キウイなど、野菜と果物に多く含まれています。

良質なたんぱく質とは、必須アミノ酸をバランスよく含んでいるたんぱく質のことです。暑さで食欲がなくなると、食事量の低下に比例して、良質なたんぱく質の摂取量も不足してしまうため、意識してとっていきましょう。良質なたんぱく質は、肉類、魚介類、大豆製品、卵などに多く含まれています。特におすすめなのは、冷麺などに使用しやすい鶏ささみです。

（栄養管理室長 酒永 智子）

がんセンター ハイ!一句 俳句ポスト



作品が選ばれましたら、四国がんセンターニュース（年4回発行）と選者発行の「俳句ライフマガジン『100年俳句計画』（隔月誌）へ掲載するほか、当院ホームページ等インターネットやテレビ、ラジオなどの各種媒体にてご紹介させていただきます。



選者：三瀬明子(俳句ライフマガジン「100年俳句計画」発行人)



特選 検査おえ春の駅舎に息を吐く

(河童さん 73歳・男性)

中七下五のフレーズが巧みです。駅舎という雑踏の中で、長く深い息を吐いている。安堵の息か、苦悩の息か。読者は想像するしかありませんが、冬や秋ではなく「春の駅舎」なので、希望を感じとれました。

入選 ほら一二三甘い香りの梅の花

(竹ノ子さん 83歳・男性)

一二三（ひ、ふ、み）と読むと、木の近くで指さしながら花を数えている様子。一二三（いち、に、さん）と読むと、梅の香まであと少しと、掛け声をかけながら歩く道中。音数から考えると前者が落ち着くでしょうか。

入選 麦秋の窓のむこうの繁忙期

(麦秋さん 78歳・男性)

遠景から近景そしてさらに向こうの遠景へと、カメラワークが巧みです。そして「繁忙期」というワードが見事。農作業をしている人々だけでなく、様々な仕事、そしてその期間丸ごとを思い浮かべることができます。

入選 愛南にやらずの雨や夏になる

(のち女さん 9歳・女子)

「やらずの雨」は帰ろうとする人を引き留めるように降る雨のこと。大人顔負けの一句です。

入選 待合室隣の人と花談義

(Y.Kさん 85歳・女性)

隣の人、という言い回しから、顔見知りではなく偶然居合わせたと読みました。知らない人同士だけど「桜が咲きましたね」など会話が弾んだのでしょうか。花（桜）の力です。

入選 また来てや麦の穂の風ほほ笑んで

(高岡恵子さん 69歳・女性)

また来てやは、家族への言葉かもしれないし、風に向かっていったともとれます。麦の穂をゆらす素敵な風がまた吹いてきますようにと。

入選 春風の伊予に明るき海と山

(御転婆さん 65歳・男性)

「伊予」へのご挨拶句として素敵です。伊予という優しい響きに、春風が似合います。伊予に明るき海と山、というフレーズも巧みです。御転婆さんをご紹介句のほかに硬軟取り混ぜた52句も投句されています。

入選 春の日に木々花々見て勇気ぞる

(本多遼人さん 7歳・男子)

春ならではの、木々や花々の美しさや生命力。元気をいただきますよう。



皆さんの「一句」募集中

患者さんのご要望で生まれた四国がんセンターの俳句ポスト、「ハイ！一句ポスト」。大変ご好評をいただいております。設置場所は、各階エレベーター前、図書コーナー、総合案内、患者支援センター「向日葵」で、作品は随時募集中です。患者さん、ご家族、面会の方、職員、どなたでも気軽にご投稿ください。皆さんの「自慢の一句」「楽しい一句」をお待ちしております。

当院は予約制を行っており、予約患者さんを優先しております

診療科		月	火	水	木	金	
消化器	内科	食道・胃・大腸	梶原(化)	仁科(化)	仁科(化)	梶原(化)	小森(化)
		肝・胆・膵	西出(内)	-	久野(内)	日野(化)	長谷部(内)
	外科	食道・胃	-	羽藤	-	柿下	-
		大腸	大鶴	浅木	大野	池谷	-
呼吸器	内科	内科	中田	高津	-	小島	-
		肝・胆・膵	-	大田	-	御厨	-
	内科新患	○加藤(有)	二宮	-	加藤(有)	☆上月	
	外科	○近藤	○加藤(有)	-	○二宮	近藤	
予 禁煙外来	山下(素)	上野	土生	重松	重松		
緩和ケア内科	末久	成本	成本	三浦(耕)	三浦(耕)		
泌尿器科	橋根	担当医	橋根	担当医	瀨戸	瀨戸	
	瀨戸	-	辻岡	-	辻岡	辻岡	
血液腫瘍内科	曾我部	-	曾我部/深谷	-	深谷	深谷	
	阿部	吉田	阿部	吉田	-	-	
感染症・腫瘍内科	○濱田	担当医	担当医	○濱田	担当医	担当医	
	竹原/坂井	予 婦人科医師	竹原	予 婦人科医師	藤本/菰下	藤本/菰下	
婦人科	横山	-	藤本	-	坂井	坂井	
	日比野	-	菰下	-	横山/日比野	横山/日比野	
乳腺外科	青儀	高島	高橋(三)	青儀	高島	高島	
	河内	高橋(三)	河内	山下(美)	宇野	宇野	
形成外科	-	山下(美)	△近藤(碧)	-	-	-	
	△山下(昌)	○山下(昌)	-	-	○山下(昌)	○山下(昌)	
頭頸科・甲状腺腫瘍科 (耳鼻咽喉科)	門田	担当医	門田	担当医	橋本	橋本	
	橋本/岡	-	橋本	-	岡	岡	
予 骨軟部腫瘍・整形外科	青木	-	青木/岡	-	○増井	○増井	
	杉原	杉原	杉原	-	杉原	杉原	
歯科口腔外科	片山	片山	片山	-	片山	片山	
	古川	古川	古川	古川	古川	古川	
放射線	診断科	加藤(翼)	加藤(翼)	加藤(翼)	加藤(翼)	加藤(翼)	
	治療科	清水	桐山	清水	桐山	細川	
予 麻酔/疼痛外来	濱本	濱本	長崎	神崎	神崎	神崎	
	原田	★首藤(聡)/☆正岡	-	-	武智	武智	
併存疾患センター 【※1は院内紹介のみ】	予 リンパ浮腫外来	-	○山下(昌)	-	-	○山下(昌)	
	予 リンパ浮腫ケア外来	-	リンパ浮腫ケア(自費)	-	-	リンパ浮腫ケア(自費)	
	皮膚科	藤山	藤山	藤山	藤山	藤山	
	精神科	-	-	-	福本	-	
	眼科	-	○大橋※1	-	-	○大橋※1	
	循環器内科	○倉田	○倉田/△東※1	○倉田	○倉田	△吉井・船田※1	
	内分泌内科	-	-	松原※1	-	-	
	糖尿病内科	-	○川村/羽立※1	○高門※1	-	○高門/池田※1	
脳神経外科	-	-	-	○國枝・山下・西川※1	-		
予 ストーマ外来	橋根	高津	○橋根	○小島	-		
予 原発不明がん診療科	-	△青儀	-	-	-		
予 セカンドオピニオン	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医		
予 がんゲノム医療外来	担当医	-	担当医	-	-		
予 遺伝性がん診療科 【※2はサーベイランス外来】	△山本	○山本※2	○山本	○山本※2	山本		
予 病理外来	-	△山本	-	○大住	-		
予 がん看護外来	担当看護師	担当看護師	担当看護師	担当看護師	担当看護師		
がんドック	酒井	徳永	酒井	徳永	酒井		

予…予約のみ ○…午前のみ △…午後のみ ★…奇数週 ☆…偶数週 (化)…化学療法担当 (内)…内視鏡治療担当
※診療担当は変更する場合がありますので、事前にご確認ください。



2013年からの表紙写真50点のうち前・後期合わせて約30点を展示中
前期：7月15日～8月22日
後期：8月23日～9月26日
2階エレベーター東側通路に展示

外来診療一覧表

●新患受付時間 7:30～12:00
●診療時間 8:30～17:15
休診日：土・日・祝日及び年末年始

担当医は変更となる場合がありますのでご了承ください

環境

“いで湯と城と文学の街”ここ愛媛の松山はノスタルジックあふれる城下町。当院はこの城下町の南東に位置し、東に霊峰石鎚、北に道後温泉、西に伊予灘を望み、自然に恵まれた最高の療養環境に立地しています。交通機関も伊予鉄巡回バスの運行など便を増やすことで来院も便利になりました。今後も患者さんの視点に立った細かな配慮を心がけ、西日本を代表する「がん専門病院」として精進いたします。



院内にてFREE Wi-Fiがご利用できます。

四国がんセンター【公式】

Facebook



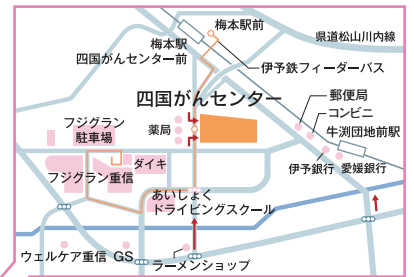
Instagram



四国がんセンター

〒791-0280
愛媛県松山市南梅本町甲160
TEL:089-999-1111
FAX:089-999-1100
https://shikoku-cc.hosp.go.jp

TRAFIC ACCESS 交通のご案内



車でお越しの場合

- 松山空港から車で 約45分
- JR松山駅から車で 約30分
- 松山市駅から車で 約25分
- 松山自動車道
 - 松山インターから車で 約20分
 - 川内インターから車で 約20分
 - 東温スマートインターから車で 10分

電車・バスでお越しの場合

